

Q.

ヨードホルム、エーテル、エステル におけるRの部分の扱いについて。

エーテル:

$R-O-R'$

R, R' は共にcを含む

エステル:

$R-CO-O-R'$

R, R' はC を含まなくてもよい、R' がcを含まないとき、カルボン酸、Cを含むものをエステル

ヨードホルムにおけるR はc,hどちらでもよいがoに直接つくものは除外

構造決定をする際間違えやすいので整理したのですが、この認識であっているでしょうか。

A.

このように表記した場合のRについては、「結合部分がCとなる基」と考えるとわかりやすいと思います。一般にRと表記した場合には「Cを含まないHだけの場合」は含みません。

エステルは $R-CO-O-R'$ 、カルボン酸は $R-COOH$ と分けて考えた方が無難です。

ヨードホルム反応は、一端に $CH_3-CO-\square$ または $CH_3-CH(OH)-\square$ の構造をもち、 \square の部分がRまたはHのみになるものとして覚えてください。